



尾竹永子が語る災害とアート -東日本大震災からコロナ禍まで-

近来、人災でないと言える天災があるだろうか？東日本大震災による福島原発事故や Covid-19 のパンデミックを想定外といえるだろうか？ムーブメント・アーティスト尾竹永子さんは福島でのパフォーマンスを行い、その写真と映像を世界各国で、また 3.11 メモリアルをアメリカで重ねてきた。今年は中国、ニューヨークでコロナ禍を経験しながら制作と発表・対話を続けている。その幅広い活動の内容と原点を映像とともに語る。

講演録画映像を WEB 配信!

2020年8月7日(金)～20日(木)

視聴料:1,000円

視聴のお申し込みは8月3日までにネットで

URL:<https://jwndr202007event.peatix.com>

※Google で検索

【問合せ先】男女共同参画と災害・復興ネットワーク
E-mail:saigai.gender@gmail.com

〔尾竹永子プロフィール〕

身体と動きを基礎に多分野にわたる作品を創作し、公演、展示、レクチャーなど幅広い活動を続けるムーブメント・アーティスト。1952年生まれで東京出身、1976年よりニューヨーク在住。40年以上Eiko & Komaとしての活動の後、14年からソロイストとして劇場を離れた場所で公演を続ける。年齢、分野、民族が違う多くのアーティストとコラボレーションも重ねる。マッカーサー賞など受賞多数。ウエスリアン大学、コロラドカレッジ、ニューヨーク大学、東京大学などで、体の動きをとおして歴史とアートの授業を教えている。

www.eikoandkoma.org

www.eikootake.org



【主催】

男女共同参画と災害・復興ネットワーク (JWDRR)
www.jwndrr.org/

【共催】

主婦連合会
(一財) 主婦会館
(公財) 日本女性学習財団

【後援】

(独) 国立女性教育会館